

第六十七回
帝國議會
貴族院

酒造組合法中改正法律案特別委員會會議事速記録第三號

付託議案(追加)

營業收益稅法中改正法律案

昭和十年三月十五日(金曜日)午後一時三十九分開會

○委員長(子爵大河内輝耕君) 是カラ開會

イタシマス、昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案竝ニ昭和七年法律第一號中改正法律案、此二案ヲ議題ニ供シマス、議題ト云フ譯デハナイガ、……之ニ付テノ二ツノ御質問ヲ願ヒマス、此二案ノ御質問ヲ願ヒマス

○野村德七君 私ハ今一應新規公債發行ノ消化力如何ト云フコトニ付キマシテ御尋ラシテ見タイノデアリマス、此新規發行公債ノ分量ト云フモノヲ過日來ノ豫算總會、貴衆兩院ニ於キマシテ、他ノ法案ノ委員會ニ於キマスル政府當局ノ御答等ニ依リマス、ナカノ近イ將來ニ於キマシテ、此新規發行公債ノ著シイ減少ト云フコトハ想像サレナイノデアアル、軍部關係カラ申シマシテモ、陸軍大臣ハ近イ將來ニ於テ軍事費ノ大ナル減少ハ望ミ得ナイト申シテ居ラレマス、海軍大臣カラハ十一年度ニ於テハ寧ロ本年度ヨリ増額スルデアラウ、但シ軍縮會

議ガ繼マレバ相當ノ減少ヲ見ルカモ知レヌト云フヤウナ御答ガアッタノデアリマス、斯ウ云フコトカラ推シマシテモ、到底近イ將來ニ赤字公債ノ大ナル減少ハ望ミ得マセヌ、所ガ今日新規公債ノ發行消化ト云フコトハ、前回ノ委員會デ政府委員ガ御述ベニリナマシタ中ニモ、一番關心シテ居ル問題デアアル、新規公債ノ消化ト云フコトハ高利公債ノ借替ト云フコトヨリモ、先ヅ第一義ニ置クベキモノデアッテ、我々ハ之ニ對シテ最大關心ヲ有シテ居ル者デアルト云フ御話ヲ伺ッタノデアリマスガ、ソレコレヲ考ヘマス時ニ、更ニ我々ハ赤字公債ノ前途ト云フモノニ對シテ多大ノ憂慮ヲ持ツ者デアリマス、此議會ニ於キマシテ、大藏大臣ハ景氣ガ回復シテ來テ商工業ソノ他、産業資金ヲ要スル爲ニ新規公債ノ消化力ノ鈍ルコトハ敢テ怖ルルニ足リナイ、商工業界ニ活氣ヲ呈シテ、其爲ニ資金ヲ吸收サレル結果トシテ、政府ノ自然増收ガ増シテ來ル、其結果トシテ減債基金ノ復活ヲ見テ、減債基金ノ制度ノ確實ヲ加ヘテ來ルト云フコトニナレバ、寧ロ國家ガ繁榮スル現象、喜ベキコトデアッテ、其爲ニ來ル公債ノ一時的消化不

良ハ決シテ公債ノ基礎ヲ危ウクスルモノデモナク、又減債基金法ノ運用ガ公債市價ヲ維持セシメテ行クモノデアッテ、少シモ憂フルニ足ラスノデアルト云フ御話ヲ聽クヤウデアリマス、少シ言葉ハ違フカモ知レマセヌケレドモ、サウ云フ御趣旨ヲ述ベテ居ラレルヤウデアリマス、所ガ財界ノ實情如何ト云フコトヲ考ヘマスルト、昭和七年以來軍事「インフレ」、爲替「インフレ」其他ノ事情ニ依リマシテ、確ニ産業界ハ殆ド全面的ニ回復イタシテ居リマス、殊ニ産業資本ノ要求ハ昨年度ニ於テ著シキ活況ヲ呈シテ居リマス、諄々シイ數字ハ述ベルコトヲ見合セマスケレドモ、事實新規企業ノ資本額ナドモ近年ニ見ザル活況ヲ呈シテ居リマス、ノミナラズ、滿洲國ニ於ケル企業又ハ最近ハ滿洲國自體ガ、北鐵買收ノ爲ニ此兩三年內ニ於テ内地ニ一億八千萬圓ノ公債ヲ募集スルコトニナッテ居リマス、斯ノ如ク内地及滿洲ニ互リマシテ、産業資本ガ可ナリ要求サレテ居ル現狀デアリマス、尤モ昨下期以來ハ是等ノ資本活動ハ生産ヲ促シマシテ、需給ノ關係ヲ失シテ、過剰生産ノ結果反動ノ景氣ヲ現出シテ居ルモノモアリマシテ、

此方面カラハ資金需要ハ將來打切ニナルト見ラレルモノモアリハシマスケレドモ、免ニ角廻リ出シマシタ事ハ尙ホ今後モ相當ノ情力ヲ以テ廻ッテ行クモノト思ヒマス、又幸ニシテ支那ニ於ケル排日ガ昨今傳ヘマスル如ク熄ミマシテ、支那市場ニ於テ日本商品ノ需要ガ旺盛ニナリマスレバ、又此産業方面ノ活動ヲ促シマシテ、更ニ相當ノ資本ヲ吸收スルモノト思フノデアリマス、斯ノ如ク見來リマスト大藏大臣ガ先程申サレテ居リマスルヤウナ積極的資金活動ノ爲ニ、新規公債發行ノ消化力ヲ鈍ラスト云フコトガ既ニ現出シツツアル、現ニサウ云フ軌道ヲ辿リツツアルカノヤウニ觀察セラレルノデアリマス、併シ思ヒマスルノニ、政府ノ自然増收ガ公債發行額ヲ著シク減少セシメ、更ニ減債基金ヲ蓄積シテ公債市價ヲ維持シ、新規發行公債ヲモ支ヘ得ル程ノ積極的ナ結果ハ、サウ容易ニ現出セズシテ、却テ赤字公債ノ堆積ニ苦シム、一時兌換券ノ増發ガ所謂數年來憂ヘラレテ居ッタヤウナ「インフレ」促進ト云フヤウナ結果ヲ持來シハスマイカト云フヤウナコトヲ慮レルノデアリマス、前回ノ委員會デ政府委員カラモ先ヅ公債ノ消化

ニ付テ大イナル關心ヲ持ツト云フ御話モアリマシタノデ、今日更ニ此點ニ付テ如何ニ御覽ニナツテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(青木一男君) 政府ノ發行シ又

將來更ニ發行セムトスル公債ガ、結局ニ於テ金融機關其他ノ市場ニ依リ圓滑ニ消化サレルト云フコトハ、單リ財政ノ運用ノ見地ニ於テノミナラズ、金融界、經濟界、諸般ノ影響ニ於テ最モ重大ナル關係ヲ持ッテ居リマスル關係上、政府ト致シマシテモ非常ノ關心ヲ此點ニ持チマシテ諸般ノ政策ノ決定、運用上重キヲ置イテ居ルト云フコトハ此前ノ委員會ニ於テモ私ヨリ申上ゲタ通りデアリマス、ソレデ只今野村サンノ御尋ノ趣旨ハ、經濟界ガ好轉シテ民間事業資金ガ多ク要ルヤウニナツテ來ル傾向ガアル、又滿洲ニ對スル投資、或ハ北鐵交渉等ニ伴フ滿洲公債引受、或ハ對支關係ノ好轉ニ伴ヒ新規事業ノ勃興ト云フヤウナコトヲ色々豫想シマシテ、將來民間ノ資金ガ多ク要ルヤウニナツテ來ルト云フト、政府ノ公債消化力ト云フモノヲソレダケ食ッテ來ルコトニナリハシナイカ、其際マア大藏大臣ハサウ云フ原因ヨリ來ル公債消化力ガ弱メラレルト云フコトハ、寧ロ喜ブベキ現象デアルト云

フ風ニ申サレテ居ルガ、併シソレニシテモ公債ノ消化ヲ妨ゲテ、所謂「インフレ」ト云フ現象ヲ起スノデハナイカト云フ點ノ御心配ト拜承イタシマシタ、其點ニ付キマシテ私共モ民間事業資金トノ競合ト云フコトモ是ハ矢張り相當重キヲ置イテ考ヘナケレバナラヌ問題ト考ヘテ居リマス、勿論結果ニ於キマシテハ非常ニ經濟界ガ好轉シマシテ、新規ノ事業ガ起ルト云フヤウナ情勢トナリマスト云フト、大藏大臣モ言ハレテ居リマスル通り、經濟界ガ全般ニ好クナツテ來マスルノデアリマスルカラ、財政上モ政府ノ稅收入其他ノ歲入モ著シク増加スルト云フコトガ大體ニ於テ豫想サレマスルノデ、サウ云フ際ニハ政府ノ財政ノ基礎モ強化サレ、政府ノ公債ニ對スル信用モ高マリ、將來ノ財政ノ地位ト云フコトニ付テモ國民ノ全般の安心ガソコニ生ジテ參リマスノデ、單ニ數字的ニ自然増收ニ依ッテ赤字公債ガ減少シテ行クト云フコト以上ニ、政府財政ニ對スル將來ノ強味ト云フコトガ大キナ原因ヲナシテ、赤字公債處理ト云フ問題ノ解決ニモ大變ヤサシクナルト云フ、斯ウ云フ大臣ノ御考デアルヤウニ存ズルノデゴザイマス、唯、只今野村サンモ申サレマシタ通り、此政府ノ公債消化ト云フコトニ非常ニ重キヲ

置キマスル爲ニ、民間ノ事業ガ盛ニナルユトヲ金融的ニ阻害スルト云フヤウナコトガアツテハナラヌ思ヒマス、ソレデ其時ニ於ケル國民全體ノ貯蓄力ト民間ノ事業資金ト、政府ノ財政上ノ需要ト云フモノヲ如何ニ其調和ヲ取ツテ配分シテ行クカト云フコトガ、サウ云フ際ニハ非常ニムツカシイ問題ニナルトハ思ヒマス、サウ云フ見地ニ於テ事業資金ノ必要ガ起リ、或ハ對外的ニ日本ノ資金ノ援助ヲ與ヘテ行カナケレバナラヌト云フヤウナ、斯ウ云フヤウナコトガアリマスレバ、矢張り政府ト致シマシテハ、ソレダケ政府ノ方ノ資金ノ需要ヲ是ハ減ラスコトヲ考ヘナクチャイカヌト云フ風ニ私共モ考ヘルノゴザイマス、從ヒマシテ景氣ガ好クナリ、或ハ内外ノ資金ノ需要ガ盛ニナルト云フ場合ニナリマスルト云フト、一方ニ於テハ景氣ノ好轉ト云フヤウナ豫測モ出來ルノデアリマスガ、ソレニモ拘ラズ私共ハ矢張り財政的ニハ、其際サウ云フ國家的の必要ナル資金ヲ満足ニ供給セシメル爲ニハ、矢張り財政的ニモ赤字ト云フモノハ出來ルダケ少クシテ、サウ云フ資金ノ競合ヲ圓滿ニ調和サセルト云フコトニ努メネバナラヌト、斯ウ云フ風ニ私共モ考ヘテ居リマス、從來モサウ云フ考慮ヲ持ッテヤッ

テ來テ居リマスガ、今後ニ於テモ同様ナ考デヤツテ行キタイト思ヒマス、唯大臣モ常ニ申サレマスル通り、其際景氣好轉ニ基ク資金需要ノ増加ト云フコトノ爲ニ、公債ノ消化ト云フコトガ相當困難ヲ加ヘルト云フヤウナ時期デアリマスレバ、之ガ打開策ト云フコトヲ考ヘマスルニモ相當道ハ開ケテ來ハシナイカ、全體のニハ日本ノ財界ガ良クナツタ際ノコトデアリマスルカラ、先ヅ色々解決策ヲ講ズルニシテモ其道ハ自ラ開ケテ來ヤウ、斯ウ云フヤウナ大體的ノ觀察ハ出來マスガ、併シソレダカラト申シテ決シテ政府ノ財政上ノ必要ニ依ッテ此公債ヲドン出シテ宜イモノデアルト云フヤウナ風ニハ決シテ考ヘテ居リマセヌ

○委員長(子爵大河内輝耕君) 外ニ御質問ゴザイマセヌデスカ……ソレデハ先ヅ此兩案ニ付キマシテノ質問ハ此位ノ程度ニ止マシテ、次ニ大正九年法律第五十六號中改正法律案、之ニ付キマシテ御尋ヲ願ヒタイト存ジマス

○男爵山根健男君 チョット北海道長官ニ御伺ヒシタイノデスガ、現在ノ北海道ノ補助會社ノ經營狀態ハドウ云フヤウニナツテ居リマスカ、補助ナシテ十分立派ニ獨立ノ經營ヲシテ行ケルモノデアリマセウカ、噂ニ

依ルト中ニハ借入金ノ利息ナドノ利拂ニ補

助金ヲ充當シテ居ルヤウナ噂モアリマスシ、

ソレカラ又北海道ノ鐵道ヨリハ稍、經營ガ

樂デアルト稱セラレテ居ル朝鮮ナドモ、昨

年又五箇年ノ補助期間ノ延期ヲ願ヒ出タト

云フヤウナコトデアリマシテ、北海道ノ私

設會社ハ今後補助期間ノ延長ナシニ獨立ノ

經營ヲヤツテ行ケルヤウナ御見込ガアリマ

スカ、私設會社ノ情況ヲ御伺イタシマス

○政府委員(佐上信一君) 北海道ノ地方鐵

道竝ニ軌道ノ現在ノ經營狀態ハ、財界ノ不

況ニ依リマシテ相當打擊ヲ受ケテ居リマス

上ニ、過去數年間ニ於テ凶作ノ爲ニ農產物

ノ收穫ガ非常ニ減少イタシマシタヤウナ關

係デ、運賃收入等ノ如キモノナリ激減ヲ致

シテ居ルヤウナ情況デアリマス、其爲ニ收

支ノ計算カラ申シマス、大體ニ於テ三、

四ノモノハ相當ノ收入ヲ擧ゲテ居リマスガ、

然ラザルモノハ運賃收入等ニ依ツテ收支ノ

計算ハ困難ノヤウナ事情ニアルノデアリマ

ス、ソレデ只今山根君ノ御質問ノ如ク、補

助期限ノ滿了シタモノノ獨立ノ經營ヲドウ

シテ行クカト云フコトニナリマス、道廳

デハ間接ノ方法、言換ヘレバ鐵道、軌道沿

線ニ於ケル所ノ移民ノ増加、産業ノ振興ト

云フヤウナ間接方法ニ依ツテ收入ヲ増シヤ

ウナ方法ヲ講ジテ、各軌道、鐵道會社個別
個別ニ大體ノ更生策ヲ執ツテ行クト云フヤ
ウナ考デ居ルノデアリマス

○男爵山根健男君 チョット御伺ヒシマス

ガ、サウ致シマス、北海道廳ノ御見込ト

シテハ、所謂サウ云フ間接的ノヤリ方ヲ爲

サルヨリ外ニ方法ガ無イト云フコトハ、言

フ迄モナク補助ガ出來レバ補助ヲスル方ガ

最モ必要ト御認メニナルト云フヤウニ解シ

テ宜シウゴザイマス

○政府委員(佐上信一君) 御承知ノ通り、

北海道ノ總テノ經費ハ昭和二年ニ定メラレ

マシタ拓殖計畫ニ依リマシテ、大體ノ年々

ノ豫算ヲ編成イタシテ居リマス、ソレデ拓

殖計畫ノ豫算ノ財源ハ、前年度ノ各種ノ國

庫收入カラ支出ヲ引イタ殘額ガ次ノ年ノ財

源ニナツテ居リマス、サウシテ其各財源ニ付

テ、植民費ハ幾ラノ金額デアアル、土木費ハ幾

ラノ金額デアアル、土木費ノ中デモ港灣ハ幾

ラ、河川ハ幾ラ、道路ハ幾ラノ金額デアアル

ト云フ豫定計畫ガ立ツテ居リマス、其豫定計

畫ニ合セテ年々ノ豫算ヲ要求ヲ致シテ居ル

ノデアリマス、從ヒマシテ地方鐵道及軌道

ノ補助費ノ如キモノモ、大體豫算ノ基準額

ト云フモノヲ設ケテ、其基準額ヲ基礎トシ

テ、年々ノ豫算ノ要求ヲ致シテ居ルノデア

リマス、然ル所、拓殖費全體ノ計畫豫算ト
云フモノガ此前議會ニ申上ゲマシタル如ク、

年々ノ不況凶作等ニ依リマシテ、非常ニ激

減ヲ致シテ居ル爲ニ豫定ノ計畫ノ通りニハ

行キマセヌ、例ヘバ昭和二年ニ二千五百萬圓

デ、昭和六年ニハ三千百萬圓、昭和九年ニハ

三千九百萬圓ノ拓殖豫算ヲ編成ヲスル計畫

デアリマシタガ、事實ハ全ク之ニ反シマシテ、

昭和二年ハ二千五百萬圓デアリマシテ計畫

通りデアリマスガ、昭和六年ニハ三千百萬

圓ガ二千二百萬圓ニ減リ、昭和九年ニハ三

千九百萬圓ガ二千百萬圓ニ減少ヲ致シマシ

タ、然ルニモ拘ラズ此軌道、鐵道ノ助成費

ハ、其當時ノ計畫豫算ヨリモ更ニ此實施豫

算ヲ殖ヤシマシテ、出來ルダケ此軌道、鐵

道ノ助成ニ努メテ居ルノデアリマス、例ヘ

バ昭和九年ノ三千九百萬圓ノ拓殖ノ計畫豫

算ニ對シマシテ鐵道、軌道ノ助成費ノ計畫

豫算ハ四百萬圓デアリマシタノガ、拓殖計

畫ノ實施豫算ガ二千四百萬圓ニ減リマシ

タニ拘ラズ、軌道、鐵道ノ助成費ノ實施豫

算ハ二百二十八萬二千圓デアリマシテ、遙ニ

増額ヲ致シテ居ルノデアリマス、其増額イ

タシマシタコトニ依ツテ、他ノ土木費、或ハ

植民費ト云フモノハ三割、四割ノ減額ヲ

更ニ増額ヲ致シテ豫算ヲ取ツテ居ル、サウシ
テソレニモ拘ラズ軌道ニ對スル年々ノ成績

ガ豫想以上ニ惡イガ爲ニ補助ヲ出シマシテ、

尙且今迄補助ヲ與ヘルコトノ出來ル豫算年

度ガ經過シタニ拘ラズ、尙ホ二百二十五萬五

千圓ノ補助未拂ガ殘ツテ居ルノデアリマス、

更ニ言葉ヲ換ヘテ申シマスルコト云フト、昭和

二年カラ昭和九年度迄ノ拓殖費ヨリ鐵道、

軌道ニ對スル補助ノ計畫豫算ノ總額ガ六百

六十三萬八千圓デアリマシタモノガ、昭和

二年カラ九年ノ實際ノ補助ノ實施額ハ九百

三萬四千圓ト云フモノニナツテ居リマス、約

二百五十萬圓増加ヲ致シテ居リマスル上ニ、

更ニ前申シマシタ百二十五萬五千ト云フモ

ノガ、既ニ拂フベキ金ガ今マデ未拂ニナツテ

居ルト云フヤウナ狀態デアリマシテ、兩方

ヲ寄セマスルコト云フト、約一千萬位ニ實施豫

算ハ計畫豫算ニ對シテナツテ居ル情況デア

リマス、軌道會社ノ氣ノ毒ナ事情ハ諒ト致

シマシテ、出來ルダケ豫算ノ都合ヲ付ケテ

補助ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、如何セ

ン拓殖財源ハ非常ニ涸渇ヲ致シマシテ、各

般ノ方面ノ事業計畫ト云フモノガ、一大頓

挫ヲ來シテ居ル際ニ更ニ鐵道、軌道ニ對シ

テ此以上ニ年限ヲ延長シテ、ヨリ多クノ補

デ極メテ困難ナコトデアルト考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵山根健男君 私ノ御伺ヒシタノハ、サウ云フ内輪ノ苦シイ状態デナクツテ、私設會社ガ果シテ補助ヲ必要トスルカト云フ點ダッタノデアリマスガ、其點ハ將來若シ出來レバ……現在ノ私設會社ノ情況ハ、補助ヲ必要トスル情況ニアルト云フヤウニ解シテ宜シイノデアリマスガ

○政府委員(佐上信一君) 軌道會社ノ軌道經營ノヤリ方等ニ付キマシテモ、今迄營業ノ方針ヲ會社ノ大體ノ獨自ノ立前ニ委ネテ居ッタノデアリマスガ、ドウシテモ是ハ總テノ經費ヲ整理節約シテ、サウシテ出來ルダケ會社ノ内容ヲ合理化シテ、會社ガ健全ニナルヤウニ致シテ行キタイト云フヤウナ立前カラ致シマシテ、ドウシテ會社ノ將來ノ立直シニハ會社箇々ニ付テ指導ラシテ參ッタ結果デナケレバ、更ニ補助ヲヤッタ方が宜イカ惡イカト云フコトニ付テハ、即斷ガ出來ナイヤウニ考ヘテ居リマス

○男爵山根健男君 モウ一ツ御伺ヒシタイデスガ、補助費ガ大分未拂ノモノガアルヤウデゴザイマスガ、其拓殖計畫ノ中デ最重要ナ役割ヲスル鐵道、軌道ノ建設ニ當リマシテハ補助ヲスルト云フ、補助ガアルノ

デ此事業ガ今マデ起ツテ來タヤウニ考ヘラレマスルガ、其約束ラシテ置イテ、補助金ヲ的確ニ御支拂ニナラナイデ今マデ來タト云フコトハ、其事情ヲ北海道當局ノ方カラ大藏省ノ方ヘ具申セラレテモ、其豫算ガ削ラレタノデアリマスガ、或ハ其必要ヲ御認メニナラナイデ、増額ヲ御要求ニナラナカッタノデアリマスガ、又アノ頂戴シマシタ書類デ拜見スルト、此十年度ノ豫算ヲ御通シニナツテモ、是ガ丁度九年度ノ補助額ノ方面ニ充當サレテ尙且三十何萬圓ノ不足ガ出來ルヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ……

○政府委員(佐上信一君) 是ハ御手許ニモ差上ゲタ調ベノ中ニモ書イテゴザイマスガ、大體大正九年法律五十六號ニ基キマシテ、近來ハ三年乃至四年ナラ四年ニ切ツテ年限ヲ短縮シテ居リマスガ、古イモノニナリマス、十五箇年間位ノ補助ノ指令ヲ出シテ居リマス、ソレハ無論豫算ノ範圍内ニ於テ補助ヲスルト云フコトノ指令ヲ出シテ居リマシテ、拓殖豫算デハ別ニ繼續費ニモナツテ居リマセヌシ、又豫算外國庫ノ負擔契約ノ年度割ノ豫定モアリマセヌ、唯年々拓殖計畫ノ豫算トシテ計上サレテ居ルノデアリマシテ、補助金ハ毎年度毎ニ其營業ノ實績ニ基イテ收支ノ算定ラシテ居リマス、併シ

ソレガ近年ノ不況ノ爲ニ豫想以上ニ補助ヲスル金額ガ殖エテ參リマシタ、ソレデ大藏省ニ對シテハ、常ニ其年度ノ補助ハ其年度ニヤルベキ原則ニ立返リタイト云フコトデ、此數年間熱心ニ大藏省ニ對シテ、其増額ノ要求ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ風ナ赤字公債ノ時節柄ニナリマス、北海道ノ收入ガ非常ニ減少スル結果、要スルニ公債政源デ以テ、此經費ヲ支辨シテ行カナケレバナラヌヤウナ時期ガ、過去數年間續キマシタ結果トシテ、大藏省ハ其増額ヲ認メナイト云フヤウナコトニナリマシテ、出來ルダケ早く此赤字ヲ消シテ、其年度内ニ補助ノ金額ガ行クヤウニ致シタイト云フコトデ、出來ルダケノ努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○男爵高崎弓彦君 此地方鐵道ノ補助ノ方デ今チヨット伺ツテ居リマス、私ノ聞違カモ知レマセヌガ、補助金ハ豫算ノ範圍内デヤルト云フ風ニ伺ツテ居リマシタガ、サウデゴザイマスガ

○政府委員(佐上信一君) 左様デゴザイマス

○男爵高崎弓彦君 サウイタシマス、ソレデ支拂ガ殘ツテ行キマシタト云フコトハ、ドウ云フ譯ニナツテ居リマスガ

○政府委員(佐上信一君) ソレハ詰リ毎年度ノ營業收支ノ實績ニ基キマシテ此建設費ニ對シ約八分ノ補助ヲ致シテ居リマス、其八分ノ補助ヲ致シテ居ッテ其結果、幾ラノ補助ヲヤラナケレバナラヌト云フ數字ガ出來ルノデアリマス、其數字ガ出テ來タモノヲ合算シタモノガ豫算ヲ超過スル場合ガアル、全部ノモノニ對シマシテソレハ法律デ八分ナラ八分ト云フ補助ヲスルト云フコトハ保障シテアリマスカラ、豫算ガ不足デアテモ補助額ハ更ニ決メナケレバナラヌ、其爲ニ豫算ト實際ノ補助ノ査定ノ金額トノ間ニ開キガ出テ來マス、其分ダケハ翌年ニ繰越シテ、翌年ノ金カラ拂ッテ行カナケレバナラヌ、サウ云フ風ナ次第デアリマス、ソレカラマア會社ノ方ノ立方ハ要スルニ補助金ノ未收入デ整理シテ居ルノデハナイカト思ヒマス、是ハマア非常ニ不合理ナ異例ナ取扱デアリマスケレドモ、拓殖費豫算ノ金額ガ補助金ノ總額トビッタリ合ハヌト云フコトニナルト、斯ウ云フ問題ガ起キテ來マス

○男爵高崎弓彦君 チヨット伺ヒマスガ、斯ウ云フ風ニ繰延ニナリマシタノハイツ頃カラデゴザイマスガ

○政府委員(佐上信一君) 昭和四年頃カラ

デゴザイマス、ソレハ矢張り此財界ノ不況

ノ關係ヤ、今ノ凶作水害ト云フヤウナモノ
ガ續キマシテ、會社ノ收入ガ激減シタ爲ニ
デス、例ヘバ二分五厘ノ補助ヲヤレバ宜イ
ヤツヲ四分位ヤラナケレバナラヌト云フ爲
ニ、補助額ガ非常ニ増加シテ來タ爲デアリ
マス

○男爵高崎弓彦君 サウスルト其繰延ニナ
リマシテカラ以後ニ、鐵道ガ……サウ云フ
補助ヲ要スルヤウナ鐵道ガ新シク許可ニナッ
テ居ルノデゴザイマスカ、ナッテ居リマスレ
バドノ位ナリマシタデスカ

○政府委員(佐上信一君) 今此新シク鐵道
ヲ企業シテ參リマスルモノハ、實ハ其補助
ノ豫約ヲ致シテ居ラヌノデアリマス、ソレ
ニモ拘ラズ矢張り仕事ヲ進メテ行キタイト
云フノガアリマス、ソレデ今補助ノ指令ノ
參ッテ居リマセヌ所ガ新設會社デニ會社、既
設會社デ延長線ニ付テ四會社ゴザイマス、
ソレハ赤字ガアルカラシテ補助ノ指令ガ出
來ヌ、將來財源ガ出來テ豫算ガ取レタラバ
ヤラウト云フコトニ致シテ居リマス

○男爵高崎弓彦君 私ノ伺ヒタイノハ、サ
ウ云フ風ニ補助ヲ要シナイノハ、是ハモウ
問題ニナリマセヌカラ宜イノデゴザイマス
ケレドモ、補助ヲ要スルヤウナ會社ガ毎

年……前年度カ今年度ニ繰延ニナルヤウナ

狀態ニナッテカラ御許シニナッタ會社ガアリ
マスカ、アリマセヌカト云フコトヲ伺ヒタ
イノデアリマス

○政府委員(佐上信一君) 新ニ會社ヲ許シ
タノハ無イノデゴザイマス、丁度昭和五年
ニ指令ヲ致シタモノガ根室拓殖軌道ト云フ
モノガ最後デアリマス、ソレカラズットヤッ
テ居ラナイノデアリマス

○男爵高崎弓彦君 サウスルト其昭和四年
度以降毎年々々前年度ノガ今年度ニ繰越ニ
ナッテ居ルヤウナノハ、ソレハ今ノ御説明
ヲ伺ッテ非常ニ不況デアッタト云フコトノ爲
ニソレダケノ經費ガ上ガラナイ、サウシテ
段々積リ積ッタト斯ウ解釋シテ宜シイノデ
アリマスカ

○政府委員(佐上信一君) 左様デゴザイマ
ス、ソレカラ尙ホ前ニ申シマシタ全然補助
ヲ受ケナイモノガ三會社、ソレカラ會社ノ
延長線ニ付テ補助ヲ受ケナイモノガ四會社
ト云フコトヲ申上ゲマシタガ、是ハイヅレモ
毎年此補助ノ要求ニ來ルノデアリマス……
會社自身ガ、ソレデアルニモ拘ラズ赤字デ
以テ到底餘力ガアリマセヌノデ、マア補助
ノ期間ガ切レタモノガアッテ豫算ニ餘裕ガ
出來タナラバ、ソレニ入レテヤラウト云フ

返事ヲ致シテ居リマス

○男爵高崎弓彦君 チョット前ニ溯ッテ伺フ
ノデゴザイマスケレドモ、其鐵道ヲ敷設シ
マス時ニハ必ず補助ヲ與ヘルト云フコトガ
何カ規定ガアルノデスカ、ソレカラ又ソレ
ハ規定ガ無クテモサウ云フ風ニ約束デモ爲
サルノデアリマスカ、チョットソコヲ御伺イ
タシタイト思ヒマス

○政府委員(佐上信一君) 是ハ法律ノ立前
ハ補助ヲ爲スコトヲ得ト書イテアリマシ
テ、結局裁量ノ問題ニ今ナッテ居リマス、併
シ此補助金ヲ十五年貫フト云フコトハ、拓
殖銀行アタリノ建設資金ノ融通ニ非常ニ有
效ナンデアリマス、ソレデマアサウ云フコ
トニシタ方ガ鐵道ノ建設費ヲ借入レルノニ
便宜ダト云フコトカラ、補助ヲスルト云フ
コトガ決定スルト否ト云フコトハ矢張り會
社ノ成立ニ非常ナ影響ガアリマス

○男爵高崎弓彦君 サウシマスルト、此未
拂ガ出來テシマッタ、出來テ來マシタ昭和四
年デスナ、其時ニ今ノヤウニ一方ノ營業ガ
不況ニシテ色ミナ租稅モ上ガラナカタヤ
ウナ話モ伺ッテ居リマスケレドモ、ソシナラ
其當時ニ大藏省ナリ何ナリ政府ニ向ッテ其
足ラナイダケラデスナ、要求ニナッテ居ッタ
ンデスカ、又要求ナサラナイノデアリマス

カ、要求シタケレドモ呉レナカッタト云フ
ノヲチョット伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(佐上信一君) 是ハモウ毎年此
豫算ノ編成ノ時ニハ赤字ヲ消ス爲ニ全額困
難デアラナラバ、五割増ト云フヤウナ色ミ
ナ方法デ以テ大藏省ニハ要求イタシテ居ル
ノデアリマス

○男爵高崎弓彦君 私ハ今ノ御返答デ私
不審ニ思フノデアリマスガ、衆議院ノ方ノ
同委員會ノ會議ニ於キマシテ、大藏省ノ政
府委員ノ答辯ハ強チサウ云フ風デナイヤウ
ニ諒解イタシテ居ルノデスカ、アレハドウ
云フ意味デゴザイマシタカ、御辯明ナサル
時……

○政府委員(佐上信一君) 現ニ此昭和七
年……八年デアリマシタカ、八年ノ如キハ
半額位……イツモ此九年度デモ六十萬圓、
大低マア主計局デ査定ヲ受ケマシタガ目的
ヲ達シナイノデアリマス

○男爵高崎弓彦君 サウスルト此衆議院ノ
方デ以テ辯明サレテ居ル政府委員ノ仰シ
ヤッタコトハ是ハ違フデゴザイマスカ、之ニ
ハ是ダケデ宜イト云フモノヲ何モソレデヤ
少イカラモット澤山俺ノ方デ遣ラウト云フコ
トハナイ、要求シタダケノコトニ對シテ政
府ハ、大藏省ノ方デハ考ヘテ居ルト云フ風

ニ書イテアリマシテ、是非共要ルカラドウ
シテモ出シテ呉レト仰シヤツト云フヤウ
ナ風ニハ見エテ居リマセヌデスケレドモ

○政府委員(佐上信一君) 年々内務省ノ省

議ヲ通ツテ豫算ニハ、斯ウ云フ風ナ軌道會社
ノ軌道ノ補助ノ非常ニ苦シイ經常費ガ足ラ
ヌノデアリマスカラ、全額デナケレバ半額
ノ五六十萬圓デモ貫ヒタイト云フコトデ、
内務省ニ全額出シマスト内務省デ半額ニ削
リマシテ大藏省ニ送ルヤウナコトニナッテ
居リマス、現ニ昨年モ六十萬圓要求シテ居
リマス、尙ホ將來モ要求シタイト思ヒマス
○男爵高崎弓彦君 サウシマスト今ノ補助
費ノ赤字ノ出テ居リマス一體責任ト言ツチ
ヤ少シ言葉ガ過ギマスケレドモ、原因ハ何
處デサウ云フ風ニ出來タノデスカ、初メノ
時ニシツカリ補助費ヲ長官ガ少イ時ニ要求
シテ置イタラバ、コンナ風ニ段々積ツテ來
ナクテ宜カッタと思ヒマスガ、段々積ツテ來
テ今伺ツテ見マスト百二十五萬圓前年度未
拂ガアル、旁々之ヲ今ノ五年間延バスト非常
ナ額ニナル、斯ウ云フコトハ容レラレナイ、
斯ウ云フ風ニ伺ツテ居リマスガ、何處デ一體
何ウ云フ風ニナツタカラ伺ツテ置キタイ

○政府委員(佐上信一君) 高崎男爵ノ前ニ

御質問ニナリマシタ如ク昭和四年後ニ於テ

不況トソレカラ凶作、水害ト云フ此特別ナ
原因ガ出テ來タ爲ニ、二分五厘ダケ拓殖費
デ補助スレバ四分位シナケレバナラスト云
フコトノ爲ニ殆ド倍加シタヤウナモノモア
リマス、サウ云フ風ナ突發ノ原因ガ經費ノ不
足ヲ生ジタ基ダト思ヒマス、ソレナラバ其
時ニ大藏省ニ要求スレバ宜イデヤナイカト
云フコトニナルノデアリマスガ、山根男爵

ノ御質問ニ御答イタシマシタ如ク、北海道
ノ拓殖財源ハ北海道カラ上ガル收入カラ
色ミナ行政ノ費用ヲ引イテ殘ツタモノガ財
源ニナツテ居リマス、現ニ一昨年デアリマス
カ、普通ナラバ三千五百萬圓位ノ財源ガア
ルベキモノガ三百二十萬圓位ニ減リマシ
タ、ソレデ二千四百四十萬圓ノ計畫ヲ致スニ
千八百萬圓カラノ赤字公債デ其尻ヲ拭ツタ
ト云フヤウナ狀態デアリマスノデ、軌道會
社等ニ對シテ補助ノ増額ハナカ／＼大藏省
ニ於テ詮議ガ困難デアルト云フコトニナッ
テ居リマス

○子爵大岡忠綱君 北海道ノ地方鐵道、軌

道ノ補助金ノ算出ノ基礎トナツテ居ル營業
費ノ査定方針ノ件デゴザイマスガ、昭和八
年以降ハ原則トシテ鐵道省ノ補助法令ノ通
リニ公式デ算出シタ額ニ、營業費ノ決算額
ヲ基礎トシテ査定シタ額等ヲ加ヘタモノヲ

二分シタ額ヲ、大體ノ査定額トスルト云フ
コトニナツテ居ルヤウニ承知シテ居リマス
ガ、之ニ付テハ當局ニ於テモ是ガ北海道ノ
實情ニ適シナイト云フコトニ付テ、當局ニ
於テモ大體御認メニナツテ居ルヤウデゴザ
イマスケレドモ、此點ニ付テモウ一應御伺
ヒシテ見タイト思ヒマス、ソレカラ第二ハ

北海道ノ植民軌道ノ問題デゴザイマスガ、
是モ矢張り相當ノ延長ニ上ツテ居ルト思ヒ
マスノデスカ、此現狀竝ニ將來之ヲドウ云
フ風ニ御導キニナルカト云フ點ニ付テ當局
ノ御辯明ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ
第三ニハ此補助率、年限延長ノ改正案ニハ
附隨的ノ補助率ノ低減ト云フ問題モ伴ツテ
來ルカト思ヒマスノデスカ、此補助率ハ勅
令ニ委ネラレテ居リマスガ、將來之ヲ改正
シテ低減ノ方針ニ進ムト云フコトニ付テハ
關係各省ニ於テ御協議中ノヤウニ伺ツテ居
リマスケレドモ、是ハイツ頃カラ御始ニナッ
テ、イツ御定メニナル御積リナンデアリマ
スカ、尙ホ此點ニ付テハ今年豫算ニ出テ居
リマス拓殖計畫調査會、此方ニモ補助率ノ
問題ハ掛ルモノデゴザイマセウカ、或ハ是
ト是トハ全ク關係ナク御定メニナルノデア
リマスガ、尙ホ此補助年限延長ノ問題ハ此
調査會ニ御掛ケニナツテ十分御研究ヲ爲サ

ルト云フ御意見デアルカト云フ點ヲ御説明
ヲ願ヒタイ

○政府委員(佐上信一君) 北海道ノ此鐵道

軌道ノ補助金額ノ算出ノ基礎タル營業費ノ
査定ハ、今マデハ營業費ノ決算額ヲ基礎ト
致シマシテ、個々ニ付テ實地調査デ決メテ
居ツタノデアリマス、然ルニ鐵道省デハ營業
費ノ公式ニ依ツテ營業費ヲ算出シタ金額ト、
營業費ノ決算額ヲ基礎トシテ査定シタル金
額ヲ加ヘテ之ヲ二分シタルモノニ依ツテ之
ヲ定メタ、デアリマスカラ理論上ハ地方鐵
道ノ如キモノハ、補助開始ヨリ十年間ハ大體
此鐵道省ノ調ノ如ク公式、ソレニ依ルモノ
ト、ソレカラ實地査定ニ依ルモノト加ヘタモ
ノヲ道廳ニ於テモ矢張り計算ノ基礎ト致シ
テ補助ヲ致スノガ適當ナノデアリマス、從ヒマ
シテ更ニ二十年ヲ經過イクシマシテ、全部ソレ
ガ拓殖費ニ參リマシタヤウナ場合ニ於キマ
シテモ、鐵道省ノ拂ツテ居リマスル計算方法
ヲ之ニ採用シタ方ガ公平デアラウト云フヤ
ウナ考カラ昭和八年カラ此公式ヲ用キテ居
ルノデアリマス、ソレカラ只今御尋ニナリ
マシタ植民軌道ト言フモノガ北海道デハ丁
度二百七十八哩デアリマス、其中デ「ガソ
リン」機關車ヲ運轉シテ居リマスノハ丁度
五十哩バカリデアリマス、其外ニアリマス

ル二百二十八哩バカリノ線ハ總テ馬鐵デア

リマシテ、ソレハ農民ガ車ト馬ヲ持ッテ、サ

ウシテ自分デ以テ其線路ヲ使ッテ植民軌道

ヲ利用シテ行クト云フヤウナ立前ニナッテ

居ルノデアリマス、ソレカラ此度豫算ニ要

求ヲ致シテアリマスル拓殖計畫改定ニ關ス

ル調査會ノ項目ハ、ドウ云フヤウナ項目ガ

其中ニ入ルカト云フコトハ、内務省ニ能ク

御相談ヲ致シマシテ決定ヲ致シタイト考ヘ

テ居リマス、只今御舉ゲニナリマシタ年限

ノ延長ト云フヤウナコトヤ何カハ、之ヲ入

レルカ入レヌカト云フコトニ付テハ、尙ホ研

究ヲ致シテ見タイト思ッテ居リマス、ソレカ

ラ鐵道省ノ地方鐵道ニ對スル補助費ヲ一分

減ラシタ結果、北海道ニ於テノ補助規則ニ

改定ヲ加ヘル必要ガアルト云フコトニ付テ

ハ、是ハ今内務、鐵道、大藏三省デ協議中

デアリマシテ、マダ協議ガ纏ッタト云フ風ニ

ハナッテ居リマセヌ、從ヒマシテ之ヲ何時カ

ラ實施スルカト云フコトニ付テモ、今ノ所

デ申上ゲル迄ニハ至ッテ居ラヌヤウナ次第

デアリマス、併シ近ク何トカ定メテ貫ヒタ

イト云フヤウナ考ハ持ッテ居リマス

○子爵大岡忠綱君 今長官ノ御説明デ大體

了解イタシマシタノデゴザイマスケレド

モ、此植民軌道ノ將來ニ付テノ御考ヲ承ル

コトガ出來マシタナラバ……

○政府委員(佐上信一君) 北海道ノ拓殖ノ

上ニ此軌道鐵道ガ、非常ニ貢獻ヲ致シテ居

リマスルコトハ、各鐵道軌道ノ會社ニ補助

ヲ致シテ居ルト云フ上カラ見デモ明瞭ノコ

トデアリマスルガ、併シ此軌道等ノ或モノ

ニ至ッテハ、必シモ此補助ヲ與ヘテ新ニ未開

ノ原野ニサウ云フヤウナモノヲ敷設セシム

ルコトガ、事情ニ合ハヌト云フヤウナ場合

ガ數々アルト思フノデアリマス、サウ云フ場

合ニ於キマシテハ、根室原野ニ始メマシタ

植民軌道ニ依リマシテ、ソレニ「レール」ヲ

敷イテ、サウシテ其「レール」ヲ敷イタモノ

ヲ其附近ノ住民ニ使用セシムルト云フヤウ

ナ方法ニ依ッテ、運輸交通ノ利便ヲ圖ッテ行

クヤウナ風ニ致シタ方ガ宜カラウト思ヒ

マス、例ヘバ新ニ移民ヲ入レマスヤウナ場所

ニ於キマシテモ、道路ヲ開鑿イタシマシテモ

重量ノアル貨物ヲ運搬イタスニハ、ナカ／＼

道路ノ基礎ガ固マラナイ、サウ云フ所ニハ

先ヅ植民軌道ヲ敷設イタシマシテ、之ヲ以テ

附近ニアル所ノ木材等ヲ鐵道沿線ニ搬出セ

シムルト云フヤウナ意味カラ致シマシテ、

サウ云フ所ヘハサウ云フ植民軌道ヲ敷設シ

テ行キタイ、但シ其地方ガ非常ニ發展ヲ致

シマシテ、此處ニアリマスル所ノ貧弱ナル

植民軌道デハ到底目的ヲ達シ得ナイト云フ

ヤウナモノニ於キマシテハ、收支ノ計算ガ

付キマスルナラバ一般普通軌道ノ敷設ヲス

ル、然ラザルモノハ道路トシテ自動車ノ路

線ヲ其處ニ設ケルト云フヤウナコトニ致シ

マシテ、成ルベク不利益ノ收支ノ償ハヌモ

ノハ、國ノ保護ニ依ッテ交通機關ヲ整備シテ

ヤルト云フコトニ植民軌道ヲ利用シテ行キ

タイト云フヤウナ考ヘデ居リマス

○子爵大岡忠綱君 尙ホ此植民軌道ニ御使

ヒニナル經費ハ十年度大體下ノ位デスカ

○政府委員(佐上信一君) 約二十九萬圓

○委員長(子爵大河内輝耕君) 外ニ御尋ネ

ゴザイマセヌデスカ

○子爵大岡忠綱君 速記ヲ止メテ……

○委員長(子爵大河内輝耕君) 速記ヲ止メ

テ下サイ

(速記中止)

○委員長(子爵大河内輝耕君) 速記ヲ始メ

テ……

○男爵(高崎弓彦君) モウ少シ御尋シタイ

ノデスガ、只今政府委員ノ御説明ヲ伺ッテ居

ルトドウモ斯ウ云フ風ニ未拂ガ出來タノハ、

要スルニ天災地變ノ罪ニ歸シテオシマヒニ

ナッテ居ルノデ……ソレハソレトシテ仕方

ガナイト思ヒマスガ、之ヲ今十五年ヲモウ

五年延シマスト云フコトハ、今デサヘ毎年

前年度ノガ未拂ニナッテ行クノデアルカラ

シテ、十五年ノ何ヲ、モウ五年延バスト非

常ナ高ニナル、デアルカラシテ此五年延長

ノ方ニハ政府委員ノ方デハ御同意シ得ナイ

ヤウニ私ハ承知シテ居ル、是ガ若シモ……

初メハ拓殖費ノ方デ之ヲ償ッテ行クト云フ

御豫定デアッタノデスケレドモ、途中デ色ミ

ナ凶作ナドノ爲ニ拓殖費ガ段々減ッテ來タ、

其爲ニ出來ナクナッタト仰シヤルナラバ、恐

ラク北海道ノ天產物ノ事デアリマスカラ、

此何ガ好クナルカモ知レナイ拓殖費ガ……

色ミナ税モ能ク澤山取レルト云フヤウナ風

ニナッテ來マスカモ知レナイト思フノデス

ガ、ソレヲ今斯ウ云フ風ニ、非常ニ不況デ

アル、毎年々々未拂ガ出來テ行クト云フノ

デアリマスカラ、連モ是ハモウ五年ハイカ

ヌト言ハレルト、助成金ニ依ッテ漸クヤッテ

居ル會社ガ、モウ此儘貫ヘナクナッテハ、潰

レテシマウヤウニ思フノデスガ、政府ハド

ウ云フ風ナ御考ヘナンデスカ

○政府委員(佐上信一君) 是ハ、此各軌道

ナラ軌道、ソレカラ鐵道ナラ鐵道ノ具體的

ニ付キマシテ出來ルダケ、積極的ニ申シマ

スレバ附近ニ住民ヲ……移住民ヲ増加スル

トカ、或ハ製造工業ノ施設ヲ設ケルトカ云

フヤウナ事ヲ致シテ、間接ニマア救済スル、ソレカラ消極的ニハ、會社ノ經理ノ内容ニ付テ、出來ルダケ整理節約ヲシテ行ク、立直シテ行クフヤウナ指導モシテ行キタイ、其一ツノ例ヲ申上ゲマスト云フト、今年ダケ補助ノ年限ノ滿了イタシマス壽都鐵道ト云フ鐵道ガアリマス、元ト壽都ト云フ所ハ、後志海岸ノ非常ニ盛ナル漁村デアリマシテ、鯨ガ出マシテ、昔時旺盛ヲ極メタ時代ニ其鐵道ヲ作ツタ、所ガ其後壽都方面ニハ鯨ノ出廻リガチットモアリマセヌ、今日ハ一尾モ鯨ガ捕レナイ、ソレデ漁業的ニ非常ニ打撃ヲ受ケテ居ル所ヘ持ッテ來テ、今度ハ大火ニ依ッテ町ガ半分以上焼ケテ、非常ニ人ガ離村シタ、ソコヘ持ッテ來テ、モウ一ツハ壽都鐵道ガ私設鐵道デアリマス爲ニ、岩内鐵道ト瀬棚線ト云フ國有鐵道ノ兩方ノ挟ミ打チニナリマシタ、運賃ガ非常ニ高イノデ總テノ物資ガ外ノ二線ヘ、國有鐵道ヘ流レテ行クノデアリマス、サウ云フフヤウナ三ツノ原因ガ相集ッテ壽都鐵道ト云フモノノ經營ヲ困難ナラシメタ、營業收入ガ上半期ト下半期ヲ合セルト云フト、五萬四千圓ノ所ヘ持ッテ來テ國庫補助ハ八萬圓位ヤッテ居リマス、ソレニ對シテ尙ホ三萬圓バカリモ金ガ足りナイト云フフヤウナマア情況デ、非常ニ慘澹タ

ルモノデアリマス、斯ウ云フ鐵道ヲ唯補助ダケデ以テ將來繋イデ行クト云フコトニナリマス、五十年間補助ヲヤリマシテモ、決シテ赤字ニナラヌノデアリマス、ソレデマア道廳デハ出來ルダケソレヲ助ケタイト云フ考カラ、拓殖費デ取りマシタ石灰工場ト云フノガアリマス、ソレハ北海道ハ御承知ノ通り多年畑作等ヲ連作シマシタ爲ニ、土壤ガ酸性ヲ帶ビテ、酸性土壤ト云フモノニナリマシテ、非常ニ麥、燕麥等ニハ不適ナ土地ガ澤山出來テ居ル、ソレニ石灰ノ粉末ヲ散布イタシマスト云フト、ソレガ中和シテ殆ド酸性土壤デアッタモノニハ五割位モ……少シ話ガ廻リクドクナリマスガ、五割位モ增收スル、其爲ニ石灰ヲ道廳デ工場ヲ經營シテ、サウシテ出來ルダケ安く農民ノ手ニ入レタイト云フ場合ニ、工場ノ豫定地ガ三箇所位アリマシタ所ヘ持ッテ來テ、丁度壽都鐵道ノ終點ニアル壽都ノ村ノ繁榮ト、鐵道ガマアサウ云フモノヲ運搬シマスト云フト、運送賃ダケ收入ガ殖エマスカラ、サウ云フ所ヘ特ニ工場ノ位置ヲ指定イタシマシテ、出來ルダケ更生ノ一部分ニ資シタイト云フフヤウナコトデ、今工事ヲ進メルコトニ致シテ居リマス、サウ云フフヤウナ、例ヘ巴士別軌道ト云フノガア

リマス、是モ年限ガ滿了ニナリマスガ、是ハ今回ノ豫算ニ甜菜工業、即チ砂糖ヲ作ル仕事ヲ始メマシテ、サウシテ各農村ニ砂糖ノ作付反別ヲ配當イタシマシテ、サウシテ其運搬費ヲ或程度マデ國庫カラ補給シテ會社ニ運搬サセル、サウ云フ場合ニ此士別軌道ノ沿道内ノ耕作面積ヲ擴メマスト、砂糖ノ運搬ノ收入ガ非常ニ殖エルト云フフヤウナ、サウ云フフヤウナ風ニ出來ルダケ箇々ノ軌道、地方鐵道ニ付テソレノ對策ヲ講ジテ參リマスルナラバ、或程度ノ救済ガ出來ヤセヌカト思ッテ居リマス、壽都鐵道アタリニ付キマシテハ、到底國庫ノ補助ヲ是レ以上ニ貰フト云フコトハ、實現可能性ガナイト云フフヤウナ町民ノ心配カラ、ノミナラズ私設鐵道デアリマス、運賃ガ非常ニ高イト云フ關係カラ致シマシテ、只今國有線ニ移シテ貫ヒタイト云フフヤウナコトデ、請願ヲ出シテ居ルフヤウナ情況デ、地元々々ニ於テハソレ等會社ノ將來ヲドウスルカト云フコトニ付テハ、町民、地方民ヲ舉ゲテ矢張り是ハ心配イタシテ居ルフヤウナ譯デアリマス、出來ルダケサウ云フ線ニ付テハ、年限ノ滿了スル、期限ノ滿了スル前ニ道廳ニ於テモ會社ト相談シテ、出來ルダケノ方法ハ講ジテ行ク積リデ居リマス、ソレデハ中上ゲ

ル迄モナク、此五箇年間延期ヲ致シマス結果ト致シマシテ、拓殖計畫ノ第二期ノ終了マデニ約千百萬圓ノ拓殖費ノ負擔増ト相成リマシテ、是ハ可ナリ拓殖計畫全般ヲ壓迫スルヤウニ私ハ思フノデアリマス、中ニモ壽都鐵道見タイナモノハ非常ニ氣ノ毒ナ、是ハ假リニ五年補助ヲ繼續シマシテモ、五年後ニ於テハ又モヤ之ヲドウスルカト云フ問題ガ出來マシテ、而モ五年間補助ヲ致シマシテモ、會社ノ狀態ハ、後方地域ト申シマスカ、營業地帶自身ノ衰微ノ關係カラ、會社ノ獨力ノ復興ハ非常ニ困難デアル、斯ウ私ハ思フ、ソレハ鐵道ヲ敷設シタ當時ノ北海道ノ繁華ガ、開發ノ進捗ニ伴フテ北海道ニ移動イタシマシタ爲ニ、北海道ノ南方面ガ窮シタ結果、當然ニ壽都方面ノ鐵道ガ影響ヲ受ケタ、其上鯨ガ捕レナクナリ、火事ガアッテ人口ハ半減スル、之ニ併行シテ相當ノ距離ニ於ケル所ノ兩國有鐵道ノ運賃ノ安イコトカラシテ、私設鐵道ノ物資ガ總テ其方ニ移動スルト云フフヤウナコトデ、今日ノ恐慌ヲナシタフヤウナ狀態デアリマス、唯單純ナ原因デアリマセヌデ、各軌道々々ノ赤字ヲ出シテ居リマス其理由ハ、其地方ニ依ッテ誠ニ複雑多岐ヲ極メテ居ルノデアリマス、之ヲ救済スルコトノ出來ルノ

モアリマス、又人爲ヲ以テハ絶對ニ方法ガ
ナイト云フモノモアリマセウシ、各軌道軌
道ニ付テ十分ニ調査イタシマシテ、何トカ
是等ノ救済ニ付テノ對策ヲ講ジテ行キタイ
ト云フヤウナ考ヲ持ッテ居リマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 何カ御質問
ゴザイマセヌカ……、私チヨット伺ヒタイ、
補助ラシテ居ル軌道會社ノ名前ハドンナモ
ノデスカ

○政府委員(佐上信一君) 刷物ニシテ差上
ゲタイト思ヒマス、丁度間ニ合ヒマセヌデ
シタガ……

○委員長(子爵大河内輝耕君) 其中ニ補助
ヲ止メルト赤字ニナッテ來ル會社ハ幾ツア
リマスカ

○政府委員(佐上信一君) ソレモ記シラ付
ケテ差上ゲマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 別ニ他ニ御
尋ハゴザイマセヌカ、ソレデハ北海道ノ方
ハ是デ今日ハ一應止メテ置キマス、次ニ營
業收益稅ニ付キマシテ御質問ノオアリノ方
ハ御願ヒ致シマス、先ヅハ衆議院ノ提案
デゴザイマスガ、政府委員カラドウ云フ提案
デアルカト云フコトト、ソレカラ又衆議院
ニ於キマシテドウ云フ質問應答ガアット
云フコトノ、大體ヲ伺フコトガ便利ト思ヒ

マス

○政府委員(伯爵橋本實斐君) 只今問題ニ

ナッテ居リマスル營業收益稅法中改正法律
案、議院提出ノモノニ付キマシテ、其法案
ノ性質、ソレカラ之ニ對シマスル政府ノ所
見ト及ビ衆議院ニ於キマスル此法案ノ委員
會ニ於キマシテ、應答セラレマシタ主ナル
條項ニ付キマシテ申上ゲタイト存ジマス、
私ヨリ改メテ申上ゲル迄モゴザイマセヌ、
其本法律案ハ議院提出ト致シマシテ過去
三年程今年デ三回目位提出ノ法案デゴザイ
マスガ、改正案ノ條項ハ極メテ簡單デゴザ
イマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、之
ニ對シマシテハ政府ハ如何ナル態度ヲ持ッ
テ居ルカ、斯ウ云フコトニ付キマシテハ法
人ノ演劇興行ニ對シマシテ營業收益稅ヲ課
シマスル問題ハ、是ハ申上ゲル迄モナク國
稅ノ關係デアリマシテ、大藏省ノ所管ニ屬
シテ居リマス、内務省ト致シマシテハ是ガ
附加稅ニ付テ關係ヲ有スルニ過ギナイノデ
ゴザイマス、而シテ此事態即チ法人ノ演劇
興行稅ニ對シマシテ從來ノ雜種稅ハ是其
儘ト致シ、別ニ營業收益稅ヲ附加稅トスル
コトニ付キマシテハ、内務省ト致シマシテ
ハ理論上敢テ反對スルコトモナイノデゴザ
イマス、詳シク申上ゲマスレバ、演劇興行

稅ハ地方稅ニ關スル法律第十九條ノ委任ニ

基イテ居リマシテ、同施行勅令第十七條中
ニ規定シテ居ルモノデゴザイマス、營業收
益稅ノ賦課ヲ受ケル營業者ニ對シマシテハ
營業稅ハ之ヲ賦課シ得マセヌケレドモ、雜
種稅ノ賦課ハ若シソレガ營業稅的ノ性質ヲ
有シマセヌデ、營業ニ課セラルルコトナク
シテ觀覽者ニ課セラレルト云フ意味ナラバ、
之ヲ禁止セラレテ居リマセヌカラシテ、假
ニ本法ガ制定イタサレマシテ法人ノ演劇興
行ニ對シマシテ、營業收益稅ヲ賦課スルコ
トニ改メラレマシテモ雜種稅タル演劇興行
稅ハ何等制限ヲ受ケマセヌ、即チ營業收益
稅ト雜種稅トハ全然別個ノモノデゴザイマ
スカラ之ヲ並行サシテモ差支ナイ、本稅ノ
ソレデ法案ノ正面ヲ見マスルト、只今申上
ガマシタ營業收益稅ダケノ問題デゴザイマ
スガ、法案提出ノ理由書ヲ見マスルト只今
私ガ申上ゲマシタ演劇興行稅ヲ廢止シテ貫
ヒタイト云フ趣旨ノ理由ガ伴ッテ居ル、ソレ
ガ而モ主ナ理由デアルヤウデアリマス、演
劇興行稅ガ果シテ營業的ノ租稅デアルカ、或
ハ然ラズシテ假ニ全然營業的ノ色彩ガナク
ハナイニシテモ、主ナル部分ガ營業稅デナ
イ性質ノ稅、即チ政府ニ於キマシテハ芝居
興行其他ヲ娛樂ノ設備ト見マシテ、之ニ對

シマシテ奢侈的ノ性質ヲ有スルモノト致シ

マシテ、奢侈的ノ部分ヲ非常ニ多ク地方自
治體ニ於キマシテハ考ヘテ居リマシテ、之
ニ奢侈稅トシテノ性質ヲ有スル意味合ニ於
キマシテ演劇興行稅ヲ課シテ居ルノデゴザ
イマスカラ、本法案改正理由ト致シマシテハ
第一ニ性質論ト致シマシテ、必シモ改正ノ
理由ニ贊同シテ居ラナイノデアリマス、本
稅ノ存廢ノ問題ニ付キマシテハ、實質ノ關
係デハナクテ賦課標準ノ問題ニ過ギナイノ
デアリマシテ、現在ノ演劇興行ヲ觀覽稅ニ
改メマスル時ハ、現在ノ主トシテ使用セラ
レテ居リマスル觀覽料ト觀客定員トニ依リ
マスル外形標準ガ之ガ改メラレマシテ、現
實ノ觀覽料ト觀客人員トヲ標準ニ致スヤウ
ニ相成リマス、從テ課稅額ガ現實ノ觀覽者
ノ支拂額ト調和スルコトニナリマシテ、營
業者ハ之ニ依ッテ所謂不入リノ場合ニ於ケ
ル租稅負擔ヲ減ゼラレルトナルデアリ
マセウ、或ハ此點ガ寧ロ只今モ申上ゲマシ
タ通り實際經營者ノ改正ヲ叫ビマスル動機
デアラウト考ヘマスルガ、是ガ爲ニハ必シ
モ演劇興行稅ヲ觀覽稅ニ改メマセヌデモ、
實現セラレ得ルコトト政府ト致シマシテハ
考ヘテ居リマス、元來觀覽料ト觀客定員ハ
演劇興行ノ設備ノ範圍内ニ於テ興行者ガ自

己ノ危險ニ於テ決定スルモノデアリマスカラ、不入リニ依ル損害ヲ興行者ニ於テ負擔スルコトハ一般原則上當然ト言ハナケレバナリマセヌ、從テ營業者ガ能ク諸種ノ事情ヲ考察シ、適當ナル觀覽料ト定員トヲ定メマスレバ、此問題ハ自カラ解消スルコトナルノデアリマス、併ナガラ積極的ニ制度自體ニ於キマシテ課稅額ト觀覽料トノ調和ヲ圖ルト云フコトハ、敢テ不當デハゴザイマセヌ、現ニ地方ノ自治ニ委セテアリマサルカラ、昭和九年度ヨリ東京府ガ之ヲ實行シテ居リマスル外、外デハ實現ガ致シマセヌ所以ハ、物稅ハ稅額ノ固定スルコトガ特徵ト認メラレテ居リマスル、若シ改正スレバ將來ノ徵稅費ヲ多額ニ要スルコトナルノデアリマス、此點ハ從前ノ如ク中央ニ於キマシテ定ムベキ問題デゴザイマセヌデ、自治ニ委カセタ問題ニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ若シ法人ノ演劇興行ニ對シテ營業收益稅ヲ課シマス、雜種稅ノ演劇興行稅ヲ廢シマシテ、個人ニ對シテハ從前ノ通り普通雜種稅ヲ賦課スルコトト致シマスレバ、兩者ノ間ニ甚シイ負擔ノ不均衡ヲ生ズル、是ハ法案ノ提出ノ理由ト致シマシテハ固ヨリ豫想シテ居ラナイノデ、營業收益稅法中ノ改正ガ出來レバ、ソレニ伴ッテ當然演劇興

行稅ガ廢セラレル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスルガ、理論ト致シマシテ先程モ私ガ申上ゲマス通り演劇興行稅ハ營業稅トシテデナク、雜種稅トシテ而モ奢侈的ノモノトシテ課スルナラバ、法人ニ營業收益稅ヲ課シマシテモ、他方ニ於テ地方ニ於ケル雜種稅ハ並行シテ成立シ得ル、斯ウ云フコトヲ入レマスレバ其兩者ノ間ニ甚シイ負擔ノ不均衡ヲ生ズルコトナルト思ヒマス、個人ニ對シテモ營業稅ヲ課シテ雜種稅ヲ廢セナケレバナラス、斯ウ云フ結論ニナルノデアリマス、サウデゴザイマセヌト個人經營ヲ法人經營ニ變更シテ行クモノガ續出シテ來ルコトハ豫想ガ出來ルカラデアリマス、隨テ本法ノ制定ニ伴ヒマシテ、個人ノ演劇興行制度ニ改正ヲ加ヘルト否トニ拘リマセズ、地方稅ノ減收ハ現實ニ法人ノ演劇興行額ニ止マラナイデ遙ニ多額ニ及ブダラウ、斯ウ云フ心配デゴザイマス、ソレカラモウツ最後ニ現在ノ演劇興行稅ハ、興行所毎ニ賦課セラレテ居リマスル例デゴザイマスルカラ、興行場所所在公共團體ハ、イヅレモ本稅又ハ其附加稅ヲ課シ得ルコトデアリマスルガ、法人ノ興行ニ對シ營業收益稅ヲ賦課スルコトニ改メラレマスル場合ニ於ケル其附加稅ハ、現行制度上カラ致シマスルト、

營業所所在公共團體間ニ分配セラレルコトトナリマシテ、恰モ彼ノ百貨店ノ出張販賣店ニ對スル地方稅ノ問題ト同様ニナリマシテ、營業所ト認メ難イ興行所ノ所在公共團體ハ其配分ニ預カルコトガ出來ナクナル、斯ウ云フコトデゴザイマス、ソレカラ只今諸種ノ、幾ツモ理由トシテ述べマシタ中ニモ申上ゲマシタ通り、政府ト致シマシテ、假ニ此法案ガ通過イタシマスレバ、而シテ此法案ノ改正ト同時ニ地方ニ於ケル雜種稅デアリマスルガ演劇興行稅ガ廢止イタサレマスレバ、從來地方ガ持ッテ居リマシタル相當ナル稅源ヲ失フ、從テ今日御承知ノ通り農村窮乏ノ折柄地方ニ於ケル自治體ノ收入ガ減ル、而モ假ニ此收入減ノ額ガサウ大キクナイニ致シマシテモ、今日ノ地方自治體ノ財政カラ致シマスルト相當ナ苦痛デア、然ラバ之ニ對シテ代リ財源ガアレバ宜イデハナイカト云フ考モゴザイマスルガ、今日マデ政府ト致シマシテハ、色々考究ヲ重ネタノデゴザイマスルガ、適當ナル代リ財源ガ無い、サウ云フコトデ今日マデ此法律改正ニ同意ヲ致シ兼ネテ參ッタノデアリマス、併ナガラ一面ニ於キマシテ法人デア、ル所ノ興行ニ對シマシテハ、法人課稅ノ原則ニ立戻ッテ營業收益稅ヲ課スルガ宜シイ、

斯ウ云フ議論ニ對シマシテハ一應理窟ガアルノデアリマスルカラ、政府ト致シマシテモ過去ノ法律委員會ニ於キマシテ、屢々此理論的仰セニ對シマシテハ、其理由ヲ認メテ參ッタノデアリマス、ソレデ終リニ申上ゲマスルガ、過去ノ委員會ニ於キマシテ、貴衆兩院ノ委員會ノ要求ニ對シマシテ內務大臣ガ出席イタシマシテ、是ハ將來ハ何トカ研究ヲスルト云フコトモ申上ゲテアルノデゴザイマスルガ、マダ其方法ヲ發見イタシマセヌデ今日ニ至ッテ居ル次第デアリマス、重ネテ申上ゲマスルガ、現在ノ農村ニ於キマスル經濟上ノ逼迫、ソレニ伴ヒマスル地方自治體ノ財政上ノ困憊、此點ヲ考ヘマスルト、假令其額ガ巨額デナイニ致シマシテモ、其財源ヲ失フト云フコトハ地方ト致シマシテハ非常ニ苦痛デア、ソレカラモウツハ尙ホ地方ニハ理想カラ申シマスルト、其制度ヲ改メナケレバナラヌト云フ雜種稅モ少クナイノデアリマス、是等モ理想カラ申シマスレバ逸早く改正ヲ致スベキデゴザイマスガ、是等ハ地方財政ノ制度ヲ全般的ニ改正ヲ致シマスル場合ニ併セテ考慮シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、此點ニ關シマシテ御承知ノ通り今年ノ議會ニ於キマシテ、又ハ去ル臨時議會ニ於キマシテ、屢々問題ト

ナリマシタ地方財政調整交付金ノ制度ガ、地方ノ財政ヲ救フ一ツノ手立テトシテ論議セラレタノデアリマシテ、之ニ對シマシテ政府ハ近イ將來ニ於キマシテ内閣審議會ト云フモノガ幸ニ出來マスレバ、地方財政ノ調整交付金ノ制度ヲ、此審議會ニ付議イタシマシテ、然ル場合ニ於キマシテハ當然ニ地方財政全般ノ問題モ論議ニ上リ、從テ只今問題トナツテ居リマスル營業收益稅法中改正法律案ニ伴ヒマスル問題モ無論審議イタサレルコトト存ズルノデゴザイマスルカラ、ソレモ餘リ遠イ將來デナイト致シマスレバ、其時ヲ俟チマシテ政府ト致シマシテハ本件ヲ審議シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ最後ニ本法律案ニ付キマシテノ衆議院ニ於ケル委員會ノ主ナル質疑應答ニナリマシタ事項ヲ申上ゲマス、ト一體此法案ハ毎年出ル、モウ質疑應答ハ毎年同ジヤウナコトヲ繰返シテ居ル、政府トシテモ法人經營ノ演劇興行ニ對シテ、營業收益稅ヲ掛ケルコトハ理論アリト認メテ居ルデハナイカ、一方ニ於テ活動寫眞其他ハ近來進シタ社會ノ程度カラスレバ最早贅澤物デハナク、社會上必要ナル娛樂機關デハナイカ、之ニ對シテ政府ハ特別ニ保護獎勵スル意思ハ無イカ、從テ斯カル惡稅ハ撤廢

スルノガ當然デハナイカ、是ガ主ナル質疑ノ中心デゴザイマシタ、併ナガラ先程私ガ續、申上ゲマシタルヤウナ理由ニ依リマシテ、政府ト致シマシテハ本法案ニ同意ヲ致シ兼ネルト云フコトヲ答辯シテ參ッ次第デゴザイマス、秩序甚ダ錯然ト致シテ居リマシテ御了解ヲ得難イカト存ジマスガ、政府ノ從來採リ來リマシタ態度竝ニ衆議院ノ委員會ニ於キマスル質疑應答ノ主ナル箇條ニ付テ申上ゲマスレバ以上ノヤウナ次第デアリマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 此案ニ付キマシテ御質問ノアル御方ハ御願イタシマス、別ニゴザイマセヌカ……私チヨット伺ヒタイ、先刻個人ガ法人ニ變ルト云フ御話ガアツタケレドモ、アレハ法人ニナレバ許可ニナリマセウネ、政府デ止メルコトガ出來マセウカ

○政府委員(伯爵橋本實斐君) ソレハ所定ノ手續ヲ經マシテ、又法定ノ要件ヲ備ヘテ居リ、傍ラ實際上別ニ差支ノナイモノナラバ、政府ト致シマシテハ無論之ヲ許可セザルヲ得ナイト存ジマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 併シ何デセウ、稅ノ關係カラモウ少シ見合ハシテ呉レト云フコトハ言ハマスネ

○政府委員(伯爵橋本實斐君) 左様デゴザイマス

○子爵大岡忠綱君 法人ガ演劇興行ノ爲メ雜種稅トシテカケラレテ居ル全國ノ分布ノ狀態ト云フヤウナモノデ、何カ表ノヤウナモノガゴザイマシタラ、チヨット戴キタイノデゴザイマス

○政府委員(伯爵橋本實斐君) ソレハ刷物

ニシテ後刻差上ゲマス

○男爵高崎弓彦君 チヨット御伺イタシマス、演劇興行ト云フコトハ、是ハ衆議院ノ速記録ナンデスガ、橋本政府委員ノ御答辯

ノ中ニ、一部是等ノ演藝其他活動寫眞ノ如キ興行物ヲ、奢侈的ノモノデアルト云フ觀念ヲ排除スル迄ニハト云フヤウナコトヲ言ッテオ出デニナリマスケレドモ、政府デハ之ヲ奢侈ト見テオ出デニナルノデゴザイマスカ

○政府委員(伯爵橋本實斐君) 經濟學上ニ所謂奢侈ト申シマセウカ、通俗ナ意味ニ於テハ奢侈ト云フ仰セデゴザイマスルカ、其點ハハッキリ致シマセヌガ、娛樂物ハ尙ホ一面奢侈的ナ意味ガ含マレテ居ルヤウニ、私共ニ於テ少クトモ課稅技術上カラ見テ居ルヤウデゴザイマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) サッキ材料ノ御要求ガゴザイマシタガ、併セテ願ッテ置

キマス、財務課長カラ説明ヲ伺ッタ時ニ、例ヘバ觀覽稅トカ、收益稅トカノ府縣別トカ、色々細カイ材料ガアルヤウデアリマシタガ、アレヲ皆サンニ配ッテ戴キタイ

○政府委員(伯爵橋本實斐君) 今御要求ノ材料ハ、準備イタシマシテ皆サンニ御配リ致シマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 御質問ゴザイマセヌデスカ

○男爵山根健男君 此法案ニ依リマスルト營業收益稅ト云フノハ營業ノ純益ニ御賦シニナルノデアリマスガ、現行法ニ地方稅ノ雜種稅ト申シマスガ、演劇興行ナンカニ對シテハドウ云フ課稅ノ標準ニナツテ居リマスカ伺ヒタイ

○政府委員(伯爵橋本實斐君) 此點ハ便宜上説明員カラ申上ゲテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵大河内輝耕君) 皆様ニ御諮リ致シマスガ、內務書記官ノ永安君ニ、只今説明員トシテ説明ヲサセルコトニシタイト云フ參與官ノ御話デスガ、許可シテ差支ヘゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○説明員(永安百治君) 演劇興行稅ハ各府縣デ定メルコトニナツテ居リマス、從テ各府縣ニ依リマシテ賦課方法或ハ課稅標準デア

ルトカ税率デアルトカ云フコトハ區々ニ

ナツテ居リマス、併シ大體ハ概計標準ニ依リ

マシテ賦課シテ居ルノデアリマシテ、中ニ

ハ實際ノ收入金、先程參與官カラ御話ガア

リマシタ如ク、東京府ノ如ク收入金ヲ標準

ニシテ居ルモノモゴザイマス、併ナガラ大

部分ハ常設館ト臨時ノモノニ依リマシテ多

少違ヒマスガ、一ツノ常設館ナラ常設館ノ

滿員ノ場合ニ於ケル入場料ノ……觀覽料ノ

總額ガドレ程デアルカト云フコトヲ計算イ

タシマシテ、ソレニ對シマシテ幾ラノ税率

ヲ取ル、斯ウ云フ定メ方ヲシテ居ルノモゴ

ザイマス、又或所ニ依リマス、其中ノ最

高料金ヲ捉ヘマシテ是ノ何倍ヲ賦課スル、

斯ウ云フ定メ方ヲシテ居ルモノモゴザイマ

ス、或ハ一等トカニ等トカ云フ等級ヲ分ケ

マシテ、一等デアレバ一人分ニ付テ幾ララ

取ルト云フ風ニ、稍、觀覽稅式デアリマスガ、

サウ云フ風ナ定メ方ヲシテ居ルノモゴザイ

マス、又尙ホ活動寫眞ノ常設館等ニ於キマ

シテハ、ドノ常設館ハ一月幾ラト云フ風ニ

月額定メテ居ル風ナモノモアリマス、是

ハ地方ニ依リマシテ色々狀況ガ違ッテ居ル

セヌ、大體サウ云フ風ニナツテ居リマス

○男爵山根健男君 サウスルト大體此法案

ガ實施セラレル場合ニハ、演劇興行ノ經營

者ニ對スル稅ノ上ノ負擔ハ輕クナルノデア

リマスカ

○政府委員(伯爵橋本實斐君) 若シ本法案

ガ通過イタシマシテ實施サレマスル曉ニ於

キマシテハ、法人經營ノ興行物ニ對シマシ

テ實收入ヲ押ヘルコトニナリマスノデ、時

代ガ好況ニナリマシテ非常ニ是等ノ演劇類

ガ榮エマスル時ニハ、從ッテ觀覽者モ多カラ

ウト存ジマス、其結果收入モ多イ、其結果

國稅トシテノ收入ハ上ガラウト存ジマス、

其反面ニ於キマシテ時代ガ不況デアリマシ

テ、演劇興行ガ不足デアリ赤字ヲ出ス、斯

ウ云フヤウナ場合ニモ收入モ激減イタシマ

シテ、從テ營業收益稅モ上ガラナイ、斯ウ

云フ結果ニナリマスルカラ、唯一律ニ本法

案ガ通過スレバ必ズ收入ガ上ガルト云フコ

トハ申上ゲ得ナイカモ知レマセヌガ、國稅

ト致シマシテハ收入ガソレダケ殖エルコト

ハ確實ダト存ジマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 他ニ御質問

トアルノデスカ

○政府委員(伯爵橋本實斐君) 此點説明員

カラ申上ゲテ置キマス

○説明員(永安百治君) 代リ財源ト致シマ

シテハ、是ハ演劇興行稅ダケヲ取扱ッテ考

ヘタノデゴザイマセヌノデ、地方稅全體ヲ

考ヘマシテ、地方稅ノ中ノ負擔ノ重イモノ

ニ付キマシテ、之ガ輕減ヲ圖ル、斯ウ云フ

ヤウナ考ヘ方ヲ致シマシテ、其中ノ一ツト

シテ演劇興行稅モ含マレテ居ル譯デアリマ

ス、從テ演劇興行稅ダケノ減收額ヲドウ云

フ風ナ財源ニスルカト云フノデナクシテ、

地方團體ニ於キマスル色々ノ雜種稅デア

ルカ、其外地租ノ附加稅デアルトカ、家屋

稅デアルトカ、各種ノ稅ニ互リマシテ負擔

ノ重イモノニ付キマシテ輕減ヲスル、而モ

其負擔ノ重イト申シマスノハ、地方團體ノ

財政ノ力ガ違ッテ居リマスルカラシテ、各

地方團體ノ財政情況ヲ見マシテ、財政情況ガ

惡イガ爲ニ負擔ガ重イ、サウ云フモノニ付

キマシテ負擔ノ輕減ヲスルト云フコトモ必

要デアリマセウシ、又稅ノ内容ニ付キマシ

テハ其相互ノ間ニ、各稅目相互ノ間ニ負擔

スノニハ、稅制整理ヲ實行スルノニハ、地

方ニ代リ財源ヲ與ヘナケレバナラヌ、是ハ

地方財政ノ力ガ非常ニ違ッテ居リマスルカ

ラシテ、サウ云フ風ナ方法ヲ考ヘナケレバ

稅制改正ノ目的ガ達シナイ、斯ウ云フヤウ

ナ考ヲ以チマシテ從來ノ如ク地方稅ト致シ

マシテ、稅源ト致シマシテ配付スルノニ

ハ、財源ヲ付與スルノデハ不十分デアルカ

ラ、稅源デハナクシテ財源ト致シマシテ付

與スル必要ガアル、斯ウ云フ風ナ考ヲ以チ

マシテ、地方財政調整交付金ヲ創設スル必

要ガアルノデハナイカト云フ風ナコトモ考

ヘテ居ルノデアリマシテ、從テ總括的ニ地

方財政全體ヲ調整イタシマシテ、其中デ財

源ヲ付與シマシテ、ソレニ依ッテ是等ノ整理

ヲ致シタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノ

デアリマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 少シ御約束

ガ違フノデスネ、收益稅ノ演劇稅ヲドウカ

スルノデ、財源ト云フコトヲ研究スルノデ

スカラネ、ダカラソレダケノ代リ財源ノ答

ガナイト云フコトハチヨットラカシイノデ

ス、今御答ヘ願フ譯ニハ行キマセヌガ、此

次マデニ一ツ然ルベク御答ヘ願ヒマス、是

ダケガ今迄問題ニナツテ居ッタノデスカラ、

全體地方稅整理ノ問題デヤナイノデスカ

ラ、研究シヤウト仰シヤレバ、是ダケノコ
トニ付テノ御研究ガアツテ然ルベキコトト
思ヒマス、此次デ宜シウゴザイマス、仰シ
ヤラレナケレバ仕方アリマセス

○説明員(永安百治君) ソレハ事實ダケラ
申上ゲタイト思フノデスガ、第六十四議會ニ
於キマシテ、當時ノ内務大臣カラ御答辯ヲ
申上ゲマシタノハ、政府ハ地方稅殊ニ演劇
興行稅ノ改正ニ付テモ調査考テ遂ゲ、成
ルベク速ニ適當ナル成案ヲ得ルヤウ努力イ
タス考デアリマス、斯ウ云フ風ニ御述ニナ
リマシタノデアリマシテ、政府ハ地方稅殊
ニ演劇興行稅改正ニ付テモト云フ風ニ言ハ
レテ居ルノデアリマシテ、是ハ地方稅全體
ノ整理ヲスル、其當時今日ノヤウニ、地方稅
及國稅ヲ通ジマシタ稅制改正準備委員會ガ
設ケラレマシタ關係モアリマシテ、是ダケノ
問題デナクシテ、地方稅、國稅全體ヲ通ジ
マシテ全體ノ改正ヲシヤウ、斯ウ云フ風
ナ企ガ實際ゴザイマシタ、其中ノ一ツノ研
究事項ト致シマシテ考ヘルト云フノデゴザ
イマシテ、是ダケヲ切離シテ考ヘルト云フ
コトハ、其當時カラ考ヘテ居ナカッタノデ
ハナイカ、斯ウ云フ風ニ私共ハ考ヘテ居リ
マス

○委員長(子爵大河内輝耕君) ソレダケデ

ヤナイノデス、是ダケ考ヘルコトニナッテ
居ッタノデス、今日ハ是デ宜シウゴザイマ
ス、速記ヲ止メテ下サイ

(速記中止)

○委員長(子爵大河内輝耕君) ソレデハ速
記開始、本日ハ是デ散會イタシマス

午後三時四十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵大河内輝耕君
副委員長 男爵高崎 弓彦君
委員

侯爵徳川 賴貞君
子爵大岡 忠綱君
男爵山根 健男君

西野 元君

山本 米三君

野村 徳七君

政府委員

内務參與官 伯爵橋本 實斐君

北海道廳長官 佐上 信一君

大藏省主計局長 賀屋 興宣君

大藏省理財局長 青木 一男君

大藏書記官 大矢半次郎君

説明員

内務書記官 永安 百治君

貴族院酒造組合法中改正法律
案特別委員會議事速記録第一
號正誤

頁 二
段 三
行 一
誤 三
正 三
業 三
諸 三
稅 三
歳 三
入 三
租 三
稅 三

昭和十年三月十五日印刷

昭和十年三月十六日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局